

2012年3月22日

東急線駅売店全店をローソンに転換

－ローソンと東急電鉄が駅売店型ローソン店舗を共同開発－

株式会社ローソン
東京急行電鉄株式会社
株式会社東急ステーションリテールサービス

株式会社ローソン（以下、「ローソン」）と東京急行電鉄株式会社（以下、「東急電鉄」）は、東急線沿線の駅売店を、共同で開発した「駅売店型ローソン店舗」に順次転換していくことで基本合意しました。両社で実験を行ってきた駅売店型の店舗で、利便性と収益性の向上を見込めるとし、合意に至ったものです。

東急電鉄の100%子会社である株式会社東急ステーションリテールサービスがローソンのフランチャイジー(加盟社)として店舗を運営してまいります。

ローソンと東急電鉄は、2005年11月から「駅型コンビニエンスストア店舗」を共同で開発し、既に東急線沿線の駅構内および駅周辺において12店舗を展開しています。今後、今月末に開店するたまプラーザ駅店から、順次転換していく予定です。

「駅売店型ローソン店舗」の詳細は、別紙のとおりです。



新丸子店



多摩川店

以上

(参考)

本日、この資料は経済団体記者会分室（東商記者クラブ）、国土交通記者会、都庁記者クラブ、川崎市政第一記者クラブ、横浜経済記者クラブにお届けしています。

別紙

【駅売店型ローソン店舗の特徴】

売場面積：平均3～5坪

品揃え：約1000アイテム～1500アイテム

（おにぎり、パン、スイーツ、東急ステーション開発のオリジナル
鉄道グッズなど）

サービス：公共料金等収納代行サービス

※商品、サービスの取り扱いは店舗により異なります

【たまプラーザ駅店の概要】

場所 東急田園都市線たまプラーザ駅 北口

開業日 2012年3月31日（土）

営業時間 6：45～22：00



（イメージ）

以上